

# CASBEE® 京都-新築

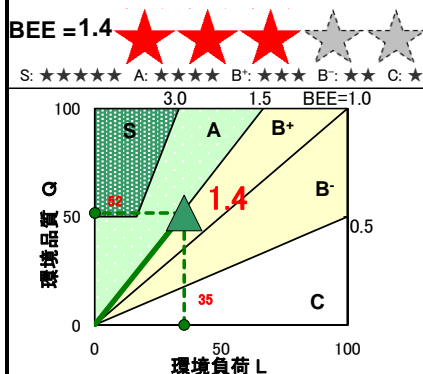
## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

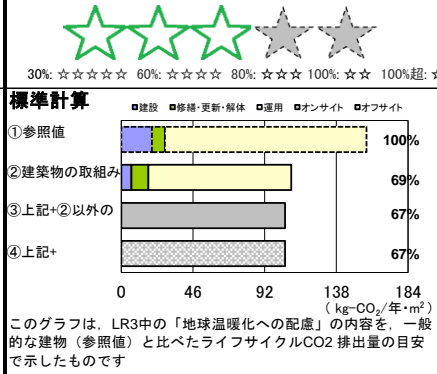
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市南区久世上久世町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都市南区久世上久世町126 外11筆	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年9月1日
敷地面積	3,753 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,836 m <sup>2</sup>	確認日	2017年9月1日
延床面積	7,885 m <sup>2</sup>	確認者	



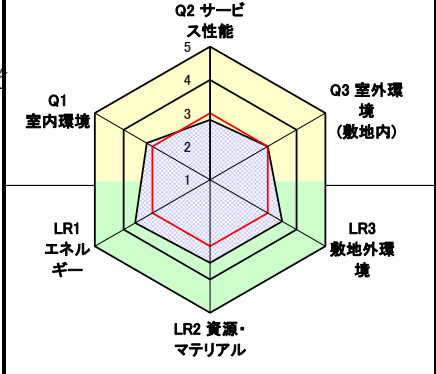
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



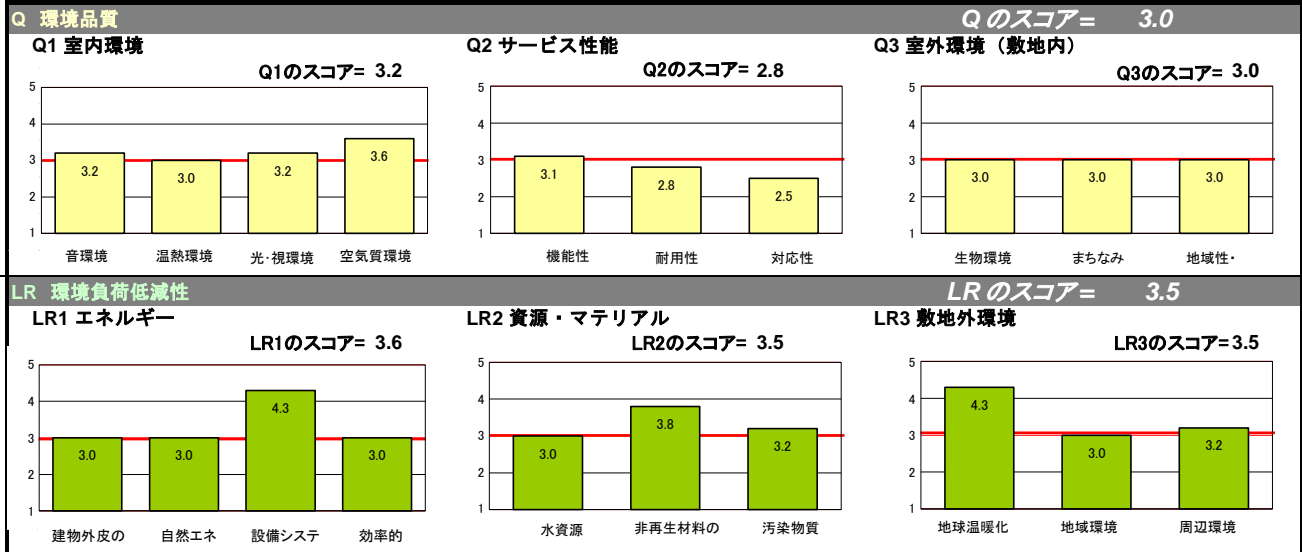
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
特異な敷地形状を生かした多面的なファサードを形成し、外周に緑地帯を設けた落ち着いたある住空間とする。		
Q1 室内環境 室内環境の向上を目指しF☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3の取得を予定しており、耐久性に優れた建物としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 外周に緑地帯を設け、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱性能等級3の取得を予定、また太陽光パネルを設置し建物の省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種別を採用している。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保し、敷地内外の環境に配慮した計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される